

平成 22 年度事業報告書
(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

越谷市千間台東 1 丁目 2 番地 1
特定非営利活動法人越谷らるご
電話 048-970-8881
理事長 増田良枝

「一人ひとりちがうその人の事情を理解し、気持ちに共感し、成長と学習をきめ細かに支援する」という設立趣旨を大切に、これまでと同様に支援活動を行ってきた。特に平成 22 年度はりんごの木が開設 20 周年、越谷らるごが法人化 10 周年という節目の年であった。りんごの木は子どもたちを中心に記念イベントの開催と記念誌の作成・発行を、越谷らるごは記念講演会の開催と法人化 10 周年記念誌の作成・発行を行った。

また新規の活動として、フリースクールの子ども（高等部）への職場体験事業（文部科学省委託）や不登校の子どものための芸術ワークショップ事業を行った。

また定款変更を行い、社会的養護が必要な子ども・若者の生活支援のための施設開設を検討する委員会を継続して開催し、埼玉県子ども安全課、児童相談所などの関係機関と協議をすすめ、平成 24 年度施設開設に向けての体制を整えた。

1 事業の成果

(1) フリースクール事業

- ・常時 30 名程度が出席し（年間を通しておよそ 45 名程度が在籍）、下記のような活動を行った。
- ・地域の協力を得ながら子どもたちへの「職場体験事業」（文部科学省委託事業）を行った。
- ・音楽活動（平成 22 年 10 月までドコモ助成金事業）を行い、他団体と協働するなどして事業所内外で 5 回の演奏会を実施した。
- ・食育活動として「ひるめし食堂」を週 1 回、実施した。
- ・進学希望者 7 名の進学が決まった。
- ・昨年に引き続き、2 社の民間企業とスポーツ交流会を実施した。
- ・日本フリースクール大会（フリースクール全国ネットワーク主催）に参加し、活動発表等を行った。
- ・フリースクールフェスティバル（フリースクール全国ネットワーク主催）に参加しバンド演奏とカフェの出店をした。
- ・保護者会（2 回）、保護者面談（1 回）を実施した。
- ・行政や他の NPO 団体と連携し、スクール生や保護者の支援を行なった。
- ・保護者有志による懇親会が毎月自主的に開催され、保護者同士の連携が深まった。
- ・子ども通信を発行した。
- ・りんごの木メンバーを中心にりんごの木 20 周年記念イベントを実施し、記念誌を制作した。
- ・子どもたちの支援の一つとして、広域通信制高校との提携を模索し、平成 23 年度から「通信制高校卒業資格取得コース」を開設できるように準備を行った。

(2) 子どもとの関係や対人関係に悩む人の相談に応じ、互助活動を支援する事業

- ・体験談を聞く機会を交えて、親の会を定期的に行うことができた。
- ・相談活動を行った。（新規相談件数：99 件。フリースクール利用者の相談を除く。）

(3) 生涯学習にかかわる事業

- ・新規事業として、福祉医療機構による助成を受け、「不登校等の子供のための芸術ワークショップ（アートプロジェクト）事業」を実施し、事業成果を報告書にまとめた。
- ・埼玉県より「ひきこもり集いの場運営事業費補助金」を受け、20歳以上の居場所「ほっとりんご」を月2回程度実施した。
- ・平成17年度に越谷らるごが中心となって立ち上げた、行政と地域との協働事業「わくわく体験プロジェクト」を6月以降、6回活動し、3月に報告冊子を作成した。
- ・ほっとりんご主催のジャズ・ミニ・コンサートを開催した。
- ・講演会（芹沢俊介氏）を行った。

(4) 人権擁護の推進と福祉の増進に関わる事業

- ・平成24年度自立援助ホーム開設を目指し、準備のための生活支援型施設開設検討委員会を毎月開催した。
- ・自立援助ホームのための不動産物件探しを開始した。
- ・委員会の準備、記録、諸連絡、広報のためのチラシ作成などの事務担当をおいた。
- ・自立援助ホームの見学を実施し、学習会や講演会を開催した。
- ・埼玉県こども安全課などの行政機関や他団体と協議しながら事業を進めた。

(5) 活動の中で得られた子どもの教育と生涯学習についての意見を広めるための事業

- ・「越谷らるご通信」を予定通りに発行した。発送作業はフリースクールの保護者有志の協力を得て行った。またホームページの更新、メールマガジンの発行などを行った。
- ・東武よみうり新聞に、「フリースクールは今」が毎月掲載された。
- ・講師活動としては、埼玉県精神保健福祉センター、保健所（草加、幸手、東松山）、埼玉県教育委員会、千葉県子どもと親のサポートセンター、川口Fネット、まちたみ、フリースクール亀の島、フリースクールのむぎから依頼があり、スタッフを派遣した。また埼玉県教育局の登校支援会議に出席した。さらに越谷らるごを会場にして鴻巣市主任児童委員と東部家庭児童委員の研修を引き受けた。

2 事業の実施にかかわる事項

特定非営利活動にかかわる事業

事業名	事業内容	実施場所
(1) フリースクール事業	年間を通して、学校以外の子どもの居場所・出会い・交流・学習の場の提供、活動支援、相談活動、見学・体験入会などの実施、情報提供などを行った。平成22年度は43名でスタートし、9名が新入会し、6名が途中退会した。(平成23年3月末の在籍：46名)	本法人の事業所他
(2) 子どもとの関係や対人関係に悩む人の相談に応じ、互助活動を支援する事業	親の会 毎月1回、年間を通して実施し、各回10名前後が参加した。	本法人の事業所
	相談活動 不登校、ひきこもり、家族関係の問題などの相談を受けた。	本法人の事業所他
(3) 生涯学習にかかわる事業	アートプロジェクト事業(福祉医療機構助成金事業) 5月～翌年2月の土曜日に月2～3回、不登校の子ども若者を対象に体験的アート活動を行った。	本法人の事業所他
	ほっとりんご(埼玉県ひきこもり集いの場運営事業費補助金事業) 20歳以上の人の居場所として毎月2回、座談会や調理など多様な活動を実施した。	本法人の事業所他
	行政と地域との協働事業(わくわく体験プロジェクト) 年5回、不登校の子どもを対象とした体験事業と不登校の体験談を聞く会を行い、年度末に報告書を作成した。	中央市民会館他
	講演会・学習会 講演会(芹沢俊介氏)を1回、開催した。	本法人の事業所

	<p>ジャズ・ミニ・コンサート ジャズピアニスト板倉克行氏らによるコンサートを3回開催した。 各回20名前後の参加者があった。</p>	本法人の事業所
<p>(4) 人権擁護の推進 と福祉の増進に関わ る事業</p>	<p>生活支援型施設開設検討委員会の活動 社会的養護が必要な子ども・若者のための自立援助ホームなどの施設開設 の準備体制を整えた。 施設見学、学習会の実施。</p>	本法人の事業所他
<p>(5) 活動の中で得ら れた子どもの教育と 生涯学習についての 意見を広めるための 事業</p>	<p>通信の発行 毎月20日に(8・9月号のみ合併号)越谷らのご通信を発行した。</p>	本法人の事業所他
	<p>インターネットによる発信 ・ホームページの更新とメールマガジンの発行を行った。</p>	本法人の事業所
	<p>講師派遣 行政、民間などから依頼され講師(職員・ほっとりんごメンバーなど)を 派遣した。 越谷らのご法人化10周年の節目の年であったため、記念講演会の開催と法 人化10周年記念誌を制作した。</p>	保健所他
<p>その他</p>	<p>定款を変更した。 韓国スタディーツアー(フリースクール全国ネットワーク主催)に参加</p>	